

△道路行政に關係ある法律、
命令、訓令、通牒等苟くも
道路行政に當る人々の知ら
ざるべからざることは凡て
本欄に於て紹介す
△道路行政に關し生じたる疑
問は本欄に於て回答するを
以て會員諸氏は隔意なく質
問あらん事を望む

通牒

内務省發土第二號

昭和十一年一月十四日

内務省土木局長
内務省警保局長

北海道廳長官
各府縣知事殿（各通）
警視總監

法令

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格ニ

關スル件依命通牒

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格別紙ノ通被定候條
御了知相成度此段及依命通牒候也

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格

記

一、道路（通路ヲ含ム以下同シ）ノ幅員

道路ノ總幅員ハ使用車輛幅ノ二倍半以上ナルコト、但シ

第三項ニ規定スル待避所ヲ有スル道路ニ在リテハ其ノ幅

員ヲ次ノ標準迄ニ縮少スルコトヲ得

（イ）車輛幅一・八米未滿ノ自動車ヲ使用スル場合ノ道

路ノ總幅員ハ三・六米以上ナルコト、但シ橋梁ノ有

效幅員ハ二・七米以上ナルコト

（ロ）車輛幅一・八米以上ノ自動車ヲ使用スル場合ノ道

路ノ總幅員ハ四・五米以上ナルコト、但シ橋梁ノ有

效幅員ハ三・六米以上ナルコト

二、停留所

(イ) 乗合自動車ノ停留所ニ於テハ左ノ車輛外道路總幅員ヲ保有スルコト

道路ノ種別	車道、歩道ノ區別アル道路ノ車道ニ於ケル車輛外道路總幅員	車道歩道ノ區別ナキ道路ノ車輛外道路總幅員	兩側人家連擔又ハ連擔場	其ノ他ノ場所
主要ナル街路主要ナル國道	三・七五米以上	五・五米以上	三・七五米以上	三・七五米以上
其ノ他ノ道路	三・七五米以上	四・七五米以上	三・七五米以上	三・七五米以上

但シ車道歩道ノ區別ナキ道路ニシテ路面外ニ幅員一米以上ノ昇降場ヲ設ケタル場合ハ停留所ニ於ケル道路ノ車輛外道路總幅員ヲ前項ノ規定ヨリ一米以內縮少スルコトヲ得

車道歩道ノ區別ナキ道路ノ車輛外道路總幅員トハ道路ノ總幅員ヨリ車輛ノ幅員ヲ減シタルモノヲ謂フ

車道歩道ノ區別アル道路ノ車道ニ於ケル車輛外道路總幅員トハ車道ノ幅員ヨリ車輛ノ幅員ヲ減シタルモノヲ謂フ

(ロ) 乗合自動車ノ停留所ハ併用軌道ノ停留所ト並置セサルコト

(ハ) 停留所ノ有效長ハ二〇米以上ナルコト、但シ特殊ノ事由アル場合ニ於テハ之ヲ使用車輛ノ長ノ二倍迄短縮スルコトヲ得

三、待 避 所

有效幅員四・五米未滿ノ道路ニハ三〇〇米以內毎ニ見透開敞ノ箇所ヲ選ビ待避所ヲ有スルコト

待避所ノ有效長ハ二〇米以上トシ其ノ區間ニ於ケル道路ノ有效幅員ハ四・五米以上ナルコト

四、最小半徑

屈曲部ニ於ケル道路中心線ノ半徑ハ一米以上ナルコト

但シ道路力交會又ハ屈曲スル箇所ノ突出部ノ内側路端線ハ半徑七・五米以上ノ圓弧ナルコト

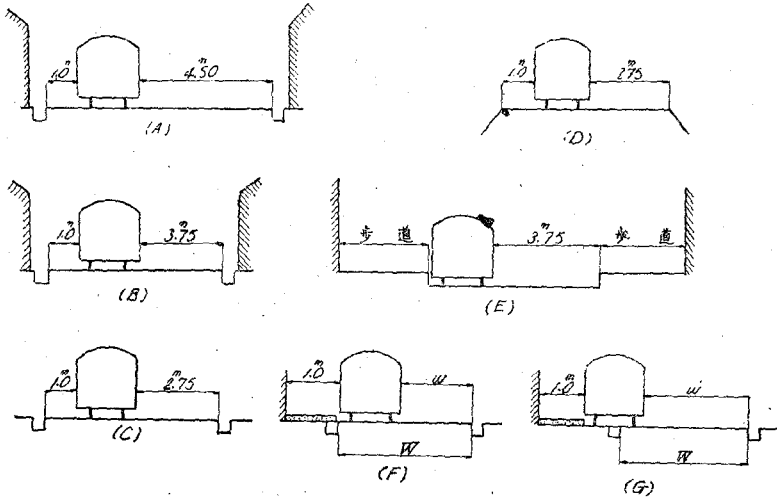
五、最小視距

人家連檐ノ箇所ヲ除クノ外視距ハ道路ノ中心線上一・四米ノ高ニ於テ五〇米以上ナルコト、但シ特殊ノ箇所ニ在

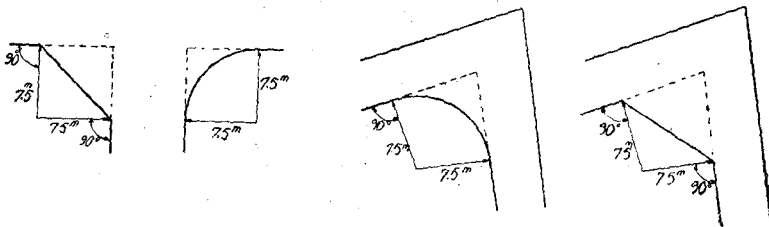
停留所ニ於ケル車体外幅員

法

令



道路ガ交會又ハ屈曲スル箇所ノ隅切



(I) 歩車道ノ區別ナキ道路

(1) 兩側人家連擔ノ場所

(A) 主要ナル街路又ハ國道

(B) 其ノ他ノ道路

(2) 其ノ他ノ場所

(C) (D)

(II) 歩車道ノ區別アル道路

(E)

(III) 路面外ニ幅員 1m 以上ノ昇降場ヲ設ケタル場合

(F) (G)

(1) 車體外幅員 (w)

(イ) 兩側人家連擔又ハ連擔スベキ場所

主要ナル街路又ハ主要ナル國道

$$w \geq 4.50\text{m}$$

其ノ他ノ道路 $w \geq 3.75\text{m}$

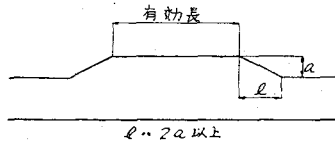
(ロ) 其ノ他ノ場所 $w \geq 2.75\text{m}$ 以上

(2) 道路ノ幅員 (W)

車體幅 1.8m 未満 $W \geq 3.6\text{m}$

車體幅 2.2m 以下 $W \geq 4.5\text{m}$

停留所及待避所ノ有効長



リテハ之ヲ二五米迄短縮スルコトヲ得

視距五〇米未滿ノ箇所ニ於テハ時速十五糎以下ニ制限スルコト

六、最急勾配

坂路ノ勾配ハ六パーセントヨリ急ナラサルコト、但シ半徑(米)ヲ勾配(パーセント)ニテ除シタル數カ一・五以上

ノ箇所ニ於テハ一〇パーセント迄急ナルコトヲ得

六パーセントヨリ急ナル坂路ニ於テハ時速十五糎以下ニ

制限スルコト

七、橋梁其ノ他ノ工作物

橋梁、溝橋等ハ道路取締令第十三條ニ規定スル荷重ニ對

シ安全ナルコト

八、保安設備

交通上危險ノ虞アル坂路、屈曲部、斷崖等ニハ速度制限標、道路標識、防護柵其ノ他必要ナル設備ヲ有スルコト

九、特別ノ事由アルモノニ限り前各項ノ定メニ據ラサルコ

トヲ得

内務省發土第二號

昭和十一年一月十四日

内務省土木局長

鐵道省監督局長宛(各通)
運輸局長

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格ニ

關スル件

標記ノ件別紙寫ノ通各廳府縣長官ニ置通牒候條御了知相成

度

甲第三四號

昭和十年十二月十七日

内務省土木局長

青森縣知事殿

專用軌道ニ依ル道路占用ニ關スル件回答

八月八日青土第三八四八號ヲ以テ御照會ニ係ル標記ノ件左記ノ通御承知相成度

記

一、第一問ニ付テハ大正十二年十二月内務省令第四十五號

第一條ニ據リ地方長官ノ許可ヲ受クルヲ以テ足り更ニ道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要セサル義ニ有之

- 二、第二問ニ付テハ御意見ノ通
 - 三、第三問ニ付テハ後段御意見ノ通
- 青土第三八四八號

昭和十年八月八日

青森縣知事

内務省土木局長殿

専用軌道ニ依ル道路占用ニ關スル件

大正十二年十二月内務省令第四五號専用軌道ノ規定ニ依ル道路占用ニ關シテ左記ノ如ク疑義相生シ目下差懸リタル件有之候ニ付何分ノ御指示相仰度此段及照會候也

記

- 一、専用軌道ノ敷設ニ依ル道路ノ占用ニ付テハ大正十二年十二月内務省令第四五號ニ何等ノ規程ナキヲ以テ軌道法第四條ノ規程ニ依ル時ハ更ニ道路管理者ノ許可又ハ承認

ヲ受クルコトヲ要セサルコトモ解セラルルモ右軌道法ノ規程ハ専用軌道ニ付テハ適用ナク從テ更ニ道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ要スルモノト解シ差支ナキヤ

- 二、占用料ニ付テモ右同様道路法第二十八條ニ依ル占用ト同一方法ニ依リ占用料徴收差支ナキヤ
- 三、軌道ノ營業年限ハ軌道法ノ解釋ニ依レハ制限ナキモ専用軌道ニ付テモ同様ナリヤ又ハ地方長官ニ於テ命令又ハ處分ニ依リ制限ヲ附シ得ルヤ

發第一四號

昭和十一年一月廿二日

内務省土木局長

各地方長官殿(但シ東京府ハ警視總監)

自動車運輸事業路線ノ道路現況調査ニ關スル件通牒

ル件通牒

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格ニ關スル件一月十四日内務省發土第二號ヲ以テ依命通牒セラレ候ニ付テハ客年十月三十日發第二一九號通牒ニ依リ道路管理者カ調製添

ルトキハ其 ノ箇所ニ於 ケル道路ノ 有效幅員	七、 屈曲半徑	八、 最小視距	九、 勾配	一〇、 橋梁、溝 橋及隨道ノ 状態
	屈曲半徑十一 米未満ノ箇所 最小屈曲半徑 道路交會部ノ 最小屈曲半徑 ケ所 米 米	米	六パーセントヨリ急 ナル勾配ノ箇所數 ケ所 最急勾配 パーセント 屈曲部ニ於ケル道路 中心線ノ半徑(米)ヲ 其ノ箇所ノ勾配(パ ーセント)ニテ除シ タル數ノ最小値	
ノ最大距離及 待避所ノ數ヲ モ記載スルコ ト				橋梁又ハ隨道 ノ有效幅員、 隨道ノ有效高 度(橋名又ハ隨 道名ヲ記スル 重量大ナル車 輛ヲ使用スル 場合ニ在リテ

一、 保安設備		一、 其ノ他必 要ト認ムル 事項
ハ橋梁、溝橋 ノ安全荷重ヲ 記載スルコト	速度制限、 道路標識、 護路柵等ノ設 備ヲ必要トス ル種類及 箇所ノ地名ヲ 記載スルコト	交通量、鐵道 軌道等ノ他 又關係其ノ交 ヲ記載スルコ ト

注意

- 一、 本様式ハ府縣知事ノ管理ニ屬スル道路ニ付其ノ様式ヲ示シタルモノナルヲ以テ其ノ他ノ道路又ハ通路ニ付テハ其ノ管理
理者ニ於テ之ニ準シ作成スルコト
- 二、 第一項乃至第三項、第七項ノ事項及長十五米以上ノ橋梁又
ハ隨道ノ位置並名稱ハ之ヲ五萬分ノ一以上ノ平面圖ニモ記
載スルコト(申請書ニ添附セル平面圖ヲ利用スルモ差支ナ
シ)